

な・か・ゆ・く・い

農林水産部農政課

身近なバイオマスを考えてみよう

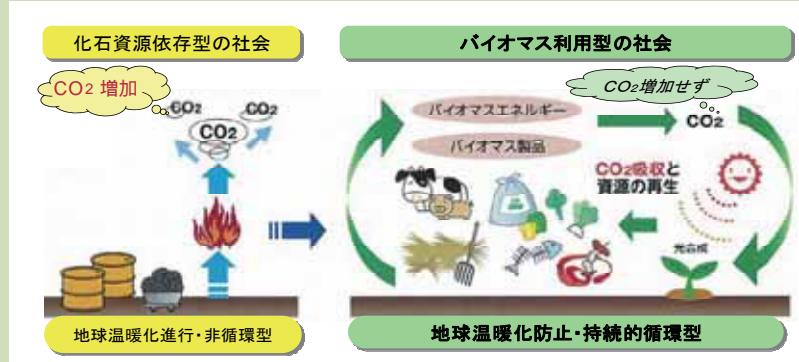
石油などの化石資源を使い続けると、大気中の温室効果ガス(CO_2)が増加し地球温暖化を引き起こすと言われています。一方、バイオマス資源は生育過程で光合成により CO_2 を吸収し固定するので、燃焼等により CO_2 が発生しても、実質的に大気中の CO_2 は増加しません。この仕組みを「カーボンニュートラル」と言います。

なぜバイオマス？

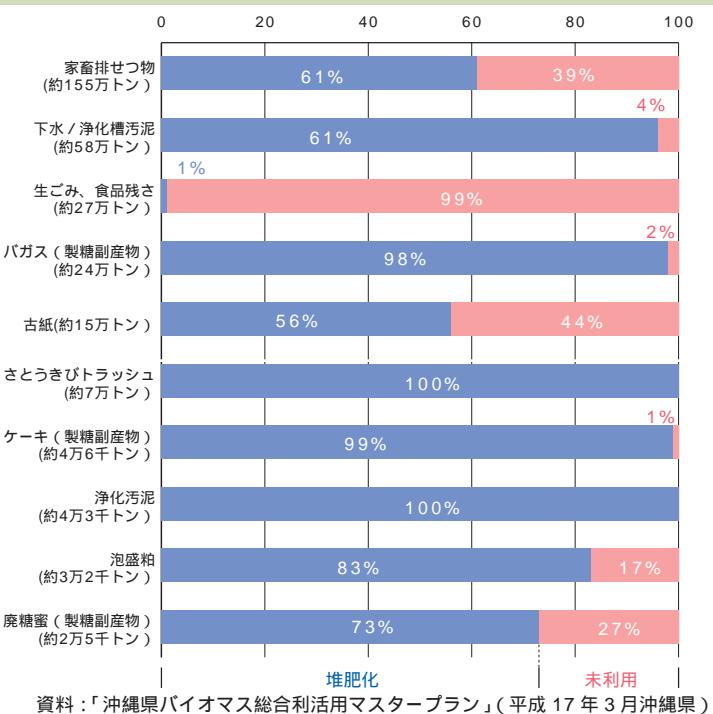
みなさん、「バイオマス」という言葉を聞いたことがありますか？「バイオマス」とは、動物や植物から生まれた再生可能な有機性資源です。例えば、家畜排せつ物や生ごみ、木くず、もみがら、バガスなどがあります。

バイオマスを利用するメリットは？

地球温暖化の防止
「カーボンニュートラル」な資源なので、 CO_2 の排出を抑制します。



資源の「使い捨て社会」から循環型社会の形成



「リサイクル社会」への移行を促進します。
バイオマスを使った新たな産業や雇用を創出します。
新たな産業の創出
バイオマスを使った新たな産業や雇用を創出します。

農山漁村の活性化
「エネルギー・や素材の供給」という新たな役割が期待されます。

沖縄県内で最も多いバイオマスは牛や豚のふん等の家畜排せつ物となつてあり、次いで下水・浄化汚泥、生ごみ・食品残さとなつています。生ごみ・食品残さの利用率は1%と低く(平成17年3月現在)、その利活用が課題となっています。

「リサイクル社会」への移行を促進します。
バイオマスってどうのくらいいあるの？

N a k a y u k u i

バイオマスはどのように使われているの？

糖蜜からバイオエタノールの製造（伊江村、宮古島市）



さとうきび糖蜜からバイオエタノールを製造し、ガソリンにバイオエタノールを3%混合肥したE3ガソリンを村や市の公用車の燃料として使用する実証事業が行われています（写真左は伊江村のバイオエタノールプラント）。



泡盛かすをメタン発酵によりガス化（宮古島市）

泡盛の蒸留かすをメタン発酵させて、発生するガスを泡盛工場内で回収/binを洗浄する動力として利用しています（写真はビンを洗浄する様子）。



造っています。

廃食用油からバイオディーゼル燃料の製造（うるま市、宮古島市、西原町、読谷村等）



食品残さを飼料化（沖縄市、北中城村、中城村、糸満市、恩納村等）



バイオマス利活用に関するホームページ（沖縄総合事務局）

http://ogb.go.jp/nousui/nourin_kankyou-baiomsu.htm

廃食用油からバイオディーゼル燃料（BDF）を製造し、自動車や農業機械等の燃料として利用されています（写真はBDF製造の様子）。

あなたの街をバイオマスタウンに！

政府は、地球温暖化防止、循環型社会の形成等の観点から、バイオマスの利活用推進に関する具体的な取組や行動計画「バイオマス・ニッポン総合戦略」を策定しました。平成18年3月には、情勢の変化を踏まえて見直しが行われ、国産バイオ燃料の本格的導入、未利用バイオマスの利活用等によるバイオマスタウン構築の加速化が明確化さ

各地

県内の各市町村の堆肥センター等において、畜産農家から排出された家畜排せつ物の堆肥化が行われています。

オマス利用の全体プラン「バイオマスタウン構想」を作成し取組を進めるもので、関係省庁は構想実現のための支援を行っています。

沖縄県内では伊江村、うるま市、宮古島市及び金武町の4市町村がバイオマスタウン構想を策定し、各種取組を行っています。あなたの街もぜひバイオマスタウンに！

れました。



バイオマス利活用に関するホームページ（沖縄総合事務局）

http://ogb.go.jp/nousui/nourin_kankyou-baiomsu.htm